

第423回 発生研セミナー

高度不飽和脂肪酸の生理機能の解明に向けた動物モデルの構築

助教 李 賢哲 博士
順天堂大学 大学院 医学研究科
生化学・細胞機能制御学講座

日 時： 令和4年3月30日(水) 12:00~13:00

アラキドン酸やドコサヘキサエン酸(DHA)などの高度不飽和脂肪酸(Poly Unsaturated Fatty Acids; PUFA)は胎児・乳幼児の発達に必須の栄養素である。哺乳類は、食物中に含まれる必須脂肪酸(リノール酸と α -リノレン酸)からPUFAを生合成する経路と、食物中のPUFAを直接接種する経路の2つの経路からPUFAを得ている。PUFAの生理機能やその分子機構を解明するためにはPUFAを欠乏させた動物モデルの構築が必要不可欠であるが、そのためには遺伝学と栄養学の両側面からPUFAの量や質を制御する必要がある。

今回のセミナーでは、我々がこれまでに独自に構築したPUFA欠乏マウスモデルを既存のPUFA欠乏モデルと比較し、長所や操作性を説明するとともに、このモデルを用いた研究結果の一部を紹介する。また、現在取り組んでいる周産期特異的にPUFAを欠乏させるモデルについて、そのアイデアを共有し議論したい。

李先生は、令和3年度発生医学研究所共同研究拠点に採択されておりま
す。

連絡先 細胞医学分野 古賀友紹(内線 6802)